

第 72 回評価監視委員会の開催について

第 72 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要について、お知らせいたします。

開催日時	2024 年 6 月 27 日（木）14：00～16：00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 (五十音順)	高橋省三（委員長（一般社団法人自動車公正取引協議会 参与 名古屋経済大学大学院法学研究科 講師 [元公正取引委員会 近畿中国四国事務所長]）） 鵜飼 誠（元会計検査院 第 1 局長） 斎尾直子（東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系教授） 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士） 宮本和明（東北大学名誉教授） 八尋和郎（株式会社 THINK ZERO 代表取締役）	
当会	共通資材調査部 大澤 勝、小林 法雅、岩崎 靖弘、名嘉 佳太 第二土木調査部 上田 浩嗣、沖田 智紀、酒井 将充、佐藤 泰、 戸田 千晴 調査統括部 柴尾 治、平野 光芳 監査審査室 黒澤 昭浩、勝井 治	
審議案件	案件	備考
	新任委員の御紹介	八尋和郎委員の御紹介等
	(定期調査) 等辺山形鋼 [東京]	「建設物価」2024 年 5 月号 30 ページの掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
	(受託調査) 制水弁（電動外ねじ式仕切弁） [熊本県八代市泉町下岳地内]	受託調査について、調査結果集計表、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 (不適切な点又は改善すべき点)	なし	

意見・質問	説明・回答
1. 定期調査について 等辺山形鋼（東京） ○原料の鉄スクラップ価格は、為替の動向に影響されないのか。 ○地域間格差は、生産拠点の立地有無から生じるのか。 ○「ベース規格」とは何か。 ○ベース規格以外についてはどのように調査したのか。 ○メーカーにはどのようにヒアリングをしているのか。 ○東京地区においては、関東地区の工場から出荷された製品が流通しているのか。	○国内で発生した鉄スクラップの一部を輸出しているため、海外のスクラップ相場や為替の変動により国内価格も一部影響を受ける。 ○輸送コストの差から地域間格差が生じている場合もある。 ○汎用性が高く、取引量が多い規格である。 ○ベース規格のヒアリングと合わせて規格間格差、都市間格差についてもヒアリングをしている。 ○価格改定を公表した時点などに価格改定の要因、今後の方針等をヒアリングすることが多い。 ○関東地区の工場から出荷された製品が多く流通しているが、西日本から海上輸送された製品も流通している。

意見・質問	説明・回答
2. 受託調査について 制水弁（電動外ねじ式仕切弁） ○口径 600 mmの本調査品目については、「建設物価」「Web 建設物価」への掲載予定はないのか。 ○「前回調査」「今回調査」の位置付けについて知りたい。 ○前回調査結果からの主な価格変動理由は何か。 ○発注者は、設計上、どのように検討して口径 600 mmの仕切弁を採用したのか。 ○既設メーカーを調査対象者に選定しなかった理由は。 ○本調査においては、メーカーの標準価格（希望価格）及びこれに対する掛率を調査したということか。	○汎用性が高い製品ではなく、メーカー各社の価格表にも未掲載品なので、現状は、「建設物価」「Web 建設物価」への掲載予定はない。 ○前回調査においては、今回調査対象の制水弁だけでなく、その他調査品目について、調査結果を発注者に報告した。約 1 年経過して、今回は、制水弁についてののみ、再調査依頼があった。 ○副資材価格、鉄スクラップ価格、電力料金が上昇したことによる。 ○発注者の判断であるため、あくまで推測だが、止水性が高いため採用された可能性はある。 ○既設メーカーは、バルブの製造を止めていると確認できたため、選定しなかった。 ○その理解で問題はない。
3. 次回開催日について ○次回評価監視委員会は、2024 年 10 月 29 日に開催予定。	